

2026年1月24日 実施

東北医科薬科大学

一般 数学

# 解答速報

医学部専門予備校  
医学部特訓塾

# 医特

I

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
1	7	7	1	5	9	—	1	3	2
サ	シ	ス	セ	ソ	タ				
—	1	2	2	9	2				

II

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
1	2	4	0	7	8	1	4	2	1
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
2	1	2	1	8	4	2	4	5	2
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ		
1	0	1	5	1	3	8	7		

III

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ
5	4	3	7	1	5	1	1	7

## 【講評】

## I 数学Ⅲ

関数の増減および凹凸についてのグラフの考察と面積を計算する微分積分の総合問題。テーマは典型的であるが、関数の置き方を工夫しないと計算量が膨大になる。(ちなみに工夫してもなかなかの計算量)

## II 数学 B

漸化式で定義された数列について、一般項と和を求めさせる問題。内容は基本的であるが、こちらも計算問題としてはかなり厳しく、問題解法についての知識の部分の整理、確実な式の運用、大まかに式を見る能力すべてが必要なものとなっていた。

## III 数学 A

等式を満たす整数の組み合わせ、順列についての問題。典型問題でないうえに条件が複雑で、思考力をかなり要する内容。

## 総評

70分の試験問題としてはボリュームが多い。時間内に I、II を完答できていたらかなり成功といえる。過年度と比べて高難易度であり、目標は（できれば）I を完答、II と III の部分点を合計して、他教科に自信があるなら3割以上、数学が得点源であれば5割はとりたい。

**【注記】** 最初は目標を5.5割程度としていましたが、再度、解答速報チームで協議した結果、I で受験生の差がつくことを考えて、上記のように修正しました。